

新宿区における地域猫対策の分類

新宿区人と猫との調和のとれたまちづくり連絡協議会 顧問
高木 優治

1 個人・グループによる対策

地域猫対策の手始めのパターンで、ここから町会などに広がりを作っていく

- ① 町会組織等と連携がなく、自宅周辺など狭い範囲で手術と餌やり片づけを行っている個人・グループなどが、保健所と連絡を取り、取り組みを開始するケース。

近隣に対して話し合いの呼びかけ、チラシ配布なども実施。同一町内に限定されることが多く周辺の理解が得やすい。

この段階で近隣トラブルが解決され、町会へ拡大しないケースもある。

- ② 町会組織等と連携がなく、広い範囲で手術と餌やり片づけ等を展開している、個人・グループから相談を受けるケースや、古くからえさを与え続け、近隣トラブルになっているケースが多く、苦情発生の原因となっていることが多い。保健所と連絡を取り、情報交換などを行い、チラシの作成・配布を行う。町を越えて行うため周辺の理解が薄く、反対者のクレームも起きやすい、持続的な応報活動や町会代表者との話し合いなどを繰り返し、近隣への理解と協力を呼びかけながら実施をしていく、とにかく時間をかけて苦情者・対象者と話しを積み重ね、町内会役員等との話し合いを継続していくことが必要となる。

2 町会と個人・グループによる対策

- ① 猫苦情解決をしたい住民からの提案を受け、保健所とともに町会組織と協議を行い、近隣との話し合いを実施、掲示板・回覧などで「地域猫対策」の啓発を行うが、町会役員が住民ボランティアグループに対策をゆだねてしまう傾向になりがちで、町会での自主的な解決力が薄く、地域での組織的取り組みになりにくい。

- ② 町会からの苦情相談をもとに、保健所と協議を行い、町会会館等を使用し「野良猫問題会議や猫問題会議」などを町会の呼びかけで開催する。会議には保健所とボランティア団体が出席し、町会内の野良猫に関する情報を共有し、問題の整理と具体的取り組みや地域で活動する人などを決める。地域で活動する人を「住民ボランティアグループと呼ぶ」。町会として掲示板・回覧などで「地域猫対策」の啓発を行い、手術代金の一部負担や募金活動・フリーマーケットなどの場を提供するなど、関わりを密接にもち、町会内で担当者を決めて直接的な支援をする。

ケースによっては町会組織の中に「地域猫対策」班を位置づけ、環境部会・婦人部会の活動として展開する。町会からの資金提供なども含め自主的な解決力を持つ。

- ③ すでに地域猫対策に取り組んでいる町会から隣接町会対策として保健所が相談を受け、町会をまたがる形で協議を行い、合同の話し合いを実施話し合いには保健所、

ボランティア団体がして行う。出席掲示板・回覧などで[地域猫対策]の啓発を行い、町会として、募金活動などの場を提供することや町会を超えて取り組みを進めることが可能になり、町会同士を跨ぐ実行グループを決めるなどして活動する。

3 地区協議会と個人・住民ボランティアグループによる対策

- ① 特別出張所管内の地区協議会が重点課題として[地域猫対策]に取り組むことを決め、町会役員、住民ボランティア、出張所職員、保健所と相談しながら進める。地区協議会の構成員で「対策会議」の事務局体制を作り、定期的に会議を持ち、各地区の取り組み報告や協力体制を確認し対策を進めていく。参加町会のイベントで[地域猫対策]の啓発ブースを設置したり、フリーマーケット等で取り組みを広げている。フリーマーケットでの収益金を、地区の活動内容によって分配する。分配金は手術代金や譲渡費用などに当てられる。啓発媒体としてチラシ、ポスター以外に地域コミュニティ誌の活用と、のぼり旗、実行者用啓発ベストを作成。毎日の活動時に着用する。

4 複数の町会にまたがる対策

- ① 狭い範囲に複数の町会が入り組んでいる場合、町会をまたいで住民ボランティア、町会役員と保健所が相談しながら進める。町会をまたいだ「対策会議」を作り定期的に会合をもち、実行していく。実行者は複数の町から参加し、猫の手術と譲渡・糞尿の清掃活動を行う。地域に対する呼びかけは、猫対策だけでなく、町の美化運動として、清掃日を決め、ポスターの掲示などで呼びかける。その結果、犬の飼い主や犬の糞尿で困っている人、猫の糞尿で迷惑している人、町をきれいにしたい人など幅の広い集まりができる。手術費用などは、お店に置かれた募金箱や、バザー、イベントなどの売上金をあてる。町の環境美化活動との呼びかけのためか、一般的な[地域猫対策]の呼びかけに比べ、協力者・参加者が多い。

5 学生ボランティアサークルによる対策

- ① ○○大学学生による、ボランティアサークルの取り組み。いわゆる「地域猫対策」スタート時点から活動を始め、大学に認知されているサークル。学内での活動が保証され、募金活動や啓発も独自に実施できる。最近では近隣町会との連携も図り学外への広がりを模索している。学内の猫の記録簿を作成し、学生の交代があっても活動が可能な団体。保健所とは随時協議を実施し、新規入部者のために保健所から「地域猫対策」の意味についてレクチャーをしている。
- ② ○○高校で授業の一環として、様々なボランティア活動を体験する中で学校周辺の地域猫対策のボランティアと活動を体験した生徒たちから継続をしていきたいと要望が出され、学校側が1年のおためし期間を設定し、生徒の活動を確認したのち、部活と

して猫部を結成し、地域猫対策活動を実施している。

6 区立公園での対策

- ① 新宿区の区立公園では、犬の立ち入りも認められていない中で、個別の猫餌やり苦情に対応して、所管するみどり公園課と協議して対応する。
- ② みどり公園課には、公園の清掃活動や花壇の手入れ等を地域住民によって活動をしてもらうための「公園サポーター制度」があり、猫の餌やりさんが毎日、園内清掃や猫や犬のフンの片づけを実施していることから、活動記録として、片付けてゴミの種類数などを報告してもらい公園課に提出し、この制度を利用して、猫のボランティアさんを公園サポーターに登録し、地域猫対策を実施する。この制度利用に際し、保健所・地域ボランティア・みどり公園課による話し合いを実施している。
- ③ 平成29年度からは、区立公園での対策を従来の②の方法から、保健所が公園での対策を確認し、みどり公園課に申請を行い、みどり公園課が公園使用許書を提出することで該当する公園での地域猫対策が認められるように変更することになった。

7 都・国管理地での対策

- ① 都の管理する施設における野良猫対策の取り組み。基本的には保健所が、住民ボランティアと相談し、町会・管理者を交えた3者で話し合いをして対策を進める。
都管理施設利用者に対する啓発活動を行い実施していくが、術後の見守りができにくい状況のため、数年後に繰り返す必要が出てくる。
- ② 国の管理地における野良猫対策の取り組み。基本的には保健所が、住民ボランティアと相談し、管理者を交えた3者で話し合いをして対策を進める。
国の施設管理者が施設内の猫の数や場所を確認し保護を行い、ボランティアが動物病院に搬送し、術後の猫を施設管理者に渡しリターンをしてもらう。
このケースの場合も都の管理する施設と同様に術後の見守り活動が困難なため、数年後に繰り返す必要がある。
- ③ 都の管理地における野良猫対策の取り組み。基本的には保健所が、住民ボランティアと相談し、管理者を交えた3者で話し合いをして対策を進める。
具体的には、〇〇公園で[地域猫対策]を進めている。

8 企業との連携による対策

- ① 企業管理地における野良猫対策の取り組み。近隣町会や住民から企業社員による餌やり苦情が発生し、企業担当部署と保健所が話し合い、企業が属している町会で活動している住民ボランティアと、保健所当該企業担当者が話し合い企業に働きかけ進める。
手術代や定時定点の餌やり片付け等企業で人を確保して進めた。

9 近隣区ボランティア団体との対策

- ① 区内外を行き来する野良猫対策の取り組み。基本的には保健所が、近隣区のボランティア団体と相談し、自治会に働きかけ進める。現在まで〇区動物愛護団体と新宿区保健所が、協働して霞ヶ丘都営住宅（霞ヶ丘町会）での対策を実施した、保護と病院搬送は〇区の動物愛護団体が実施し、手術代金と術後の見守り活動及び一部の猫に関しては団地内で新たな飼い主を捜すなど、自治会の協力によって可能になった。
- ② 鉄道の駅構内での野良猫に対する餌の投げ入れ防止対策として、〇動物愛護団体と新宿区の個人ボランティア、新宿区保健所が、協働して〇〇駅に働きかけ協力を得て駅構内での対策を行った。投げ入れ餌の片づけは駅職員の協力で、手術と保護はボランティア団体が行い、手術代金の一部は駅からのカンパがあり、看板の設置により餌の投げ入れはなくなった。野良猫の餌に関しては駅利用者から目撃されない場所で協力者によって実施。
- ③ 区界が複雑に入り組んでいる地域での取り組み、基本的には保健所が、地域ボランティアと相談し、新宿区の町会会議に他区のボランティア団体を交えた話し合いをして対策を進め、新宿区の町会と協力して実施していく。
他区保健所に取り組みの報告及び情報提供を新宿区保健所が行う。
- ④ 繁華街で商店会などの協力も難しい場所で、近隣ボランティア団体と商店主・従業員が保健所と連絡を取り、[地域猫対策]グループを結成して活動をする。
商店会や町会に働きかけ、地域猫対策に関する話し合いの場を設定し、保健所・ボランティア団体が出席して開催し理解と協力を依頼する。
近隣に対して[地域猫対策]の呼びかけチラシの配布、手術・譲渡などを実施する。

- 注) 1 個人・グループとは、新宿内で活動をしている個人やグループのことで、住民ボランティア又は住民ボランティアグループと呼ぶ。
多くは〇〇町地域猫の会等の名称で活動をしている。
この分類では、両方の表現をしている。
- 注) 2 ボランティア団体とは、NPO法人など、地域猫対策に関して知識や経験が豊富な団体のこと。